薬剤関連基礎データ

		令和3年度	令和4年度
入院処方せん枚数		128,672 枚	128,920 枚
外来処方せん枚数	院内	5,324 枚	5,498 枚
	院外	111,792 枚	112,944 枚
院外処方せん発行率		95.5 %	95.4 %
注射処方せん枚数	入院	140,444 枚	137,256 枚
病棟薬剤業務実施加算1	算定患者数	10,980 人	14,735 人
	算定件数(週1回100点)	25,397 件	26,962 件
病棟薬剤業務実施加算2	算定患者数	1,419 人	1,626 人
	算定件数(1日につき80点)	7,212 件	7,615 件
薬剤管理指導料1 (特に安全管理が必要な医薬品が投与又は注射されている患者に対して行う場合)	実患者数	1,996 人	2,200 人
	実施件数	3,569 件	4,209 件
	算定件数(380点)	3,534 件	4,167 件
薬剤管理指導料2 (薬剤管理指導料1の患者以外の患者に対して行う場合)	実患者数	3,056 人	3,899 人
	実施件数	4,366 件	6,339 件
	算定件数(325点)	4,313 件	6,288 件
麻薬管理指導加算 (薬剤管理指導料)	実患者数	89 人	85 人
	算定件数(50点)	142 件	147 件
薬剤情報提供料(10点)		1,931 件	2,411 件
退院時薬剤情報管理指導料	実患者数	19 人	91 人
	算定件数(90点)	18 件	90 件
調剤技術基本料1	入院中の患者に投薬を行った場合 (42点)	8,673 件	件
調剤技術基本料2	その他の患者に投薬を行った場合 (14点)	2,177 件	件
調剤料1	イ 内服薬、浸煎薬および頓服薬 11点	3,489 件	件
	ロ 外用薬 8点	1,925 件	件
調剤料2	入院中の患者に対し投薬を行った場合 7点	134,185 件	件
院内製剤加算 (調剤を院内製剤の上行った場合は、所定の点数に10点加算する)		対象外	対象外
外来化学療法 ※外来化学療法加算1、2の施設基準を届出している場合	イ 外来化学療法加算1(1) 15歳未満の患者の場合(670点)算定件数		11 件
	イ 外来化学療法加算1(2) 15歳以上の患者の場合(450点)算定件数		1,191 件
	バイオ後続品導入初期加算 バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を使用した場合(月1回150点)		0 件
	混合案件数		1,174 件
B-001-2-12 外来腫瘍化学療法診療料 ※外来腫瘍化学療法診療料1、2の施設基準を届出している場合	1 外来腫瘍化学療法診療料1(イ)抗悪性腫瘍剤を投与した場合(700点)		3,716 件
	1 外来腫瘍化学療法診療料1(ロ)抗悪性腫瘍剤の投与その他必要な必要な治療管理を行った場合(400点)		82 件
	小児加算 外来腫瘍化学療法診療料を算定した患者が15歳未満である場合(200点)		2 件
	連携充実加算 外来腫瘍化学療法診療料1(イ)を算定した患者に対し、当該保険医療機関の医師又は当該医師の指示に基づき薬剤師が、副作用の発現状況、治療計画等を文書により提供した上で、当該患者の状態を踏まえて必要な指導を行った場合(月1回150点)		0 件
	バイオ後続品導入初期加算 バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を使用した場合(月1回150点)		0 件
	混合案件数		6,927 件
	無菌製剤処理科1 算定件数 イ閉鎖式接続器具を使用した場合(180点)		4,333 件
	無菌製剤処理科1 算定件数 ロ イ以外の場合(45点)		30 件
入院 抗悪性腫瘍剤	混合案件数	4,631 件	5,309 件
	無菌製剤処理科1 算定件数 イ 閉鎖式接続器具を使用した場合(180点)	1,910 件	2,512 件
	無菌製剤処理科1 算定件数 ロ イ以外の場合(45点)	411 件	154 件
入院・外来 中心静脈栄養剤	混合案件数	273 件	221 件
	無菌製剤処理科2(40点)算定件数	6 件	2 件
入院・外来 抗悪性腫瘍剤以外、中心静脈栄養剤以外	混合案件数	1,204 件	1,203 件
	無菌製剤処理科2(40点)件数	0 件	0 件
緩和ケア診療加算	算定件数(390点)	1,081 件	1,363 件
特定薬剤治療管理料	算定件数	2,146 件	2,286 件
	請求金額	12,105,150 円	12,859,050 円
特定薬剤治療管理料2	算定件数(月1回100点)	1 件	1 件